



令和5年10月号



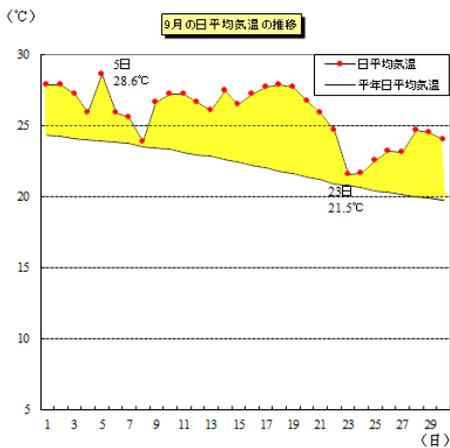
9月8日の雨

台風第13号が東海道沖で熱帯低気圧に変わりましたが、持ち込んできた暖かく湿った空気により、茨城県沿岸で雨雲が急速に発達し、ゆっくりと北上したため、線状降水帯が発生しました。この雨雲により、市役所で観測開始以来最大の雨量を観測し、市内の広い範囲で被害が発生しました。

9月8日の雨での記録更新
 観測開始以来最も多い記録
 日降水量 268.0 ミリ
 (十王、南部、諏訪の各観測所も更新)
 1時間最大降水量 97.0 ミリ
 (18時19分までの1時間)
 (十王、諏訪の観測所も更新)
 多い方から2位の記録
 10分間最大降水量 26.5 ミリ
 (18時18分までの10分間)

9月の気候

9月は、東から高気圧に覆われましたが、張り出しが弱く、湿った空気の影響をうける時もありました。気温は引き続き高く、月平均気温は25・8℃と平年よりかなり高く9月としては過去最も高くなりました。最高気温、最低気温の平均も9月として過去最も高く、最低気温が25℃以上の日数は5日、真夏日は12日と多くなりました。月合計降水量は430ミリと平年の245%。月合計日照時間は161・0時間と平年の114%でした。



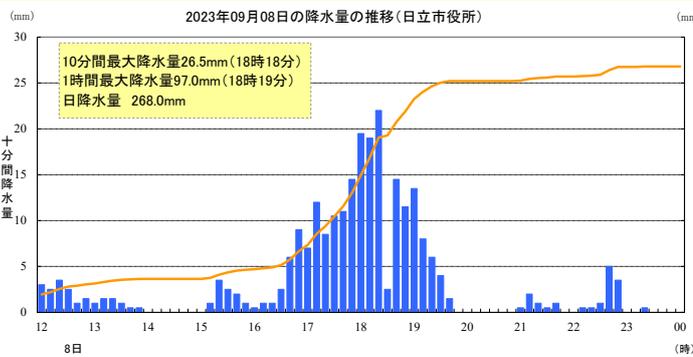
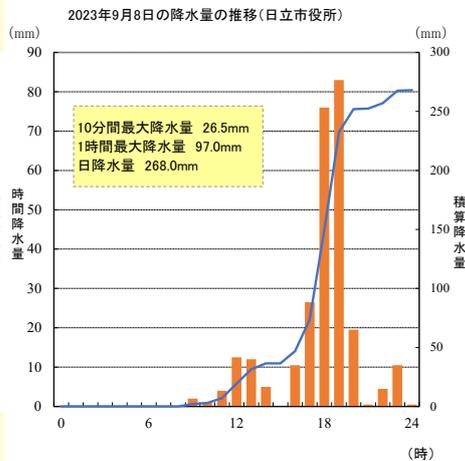
一ヶ月予報 (気象庁発表)

数日の周期で天気は変わる予想です。はじめ寒気の影響もありますが、暖かい空気に覆われやすいため、平均気温は「平年並みか高い」降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は、「ほぼ平年並み」の見込みです。



9月8日の雨の降り方

1時間ごとと10分ごとの雨量の観測データのグラフです。



1時間ごとのデータを見ると、17時台と18時台に80ミリ前後の降水を観測しており、この前後の2時間30分ほどで、平年の9月ひと月分の雨が降った。過去最も日降水量が多くなった1996年6月28日は時間最大は30ミリに達せず、1日かけて降ったが、今回は数時間で記録更新したことになる。また、過去最も1時間最大降水量が多かった1999年10月27日は時間雨量が1度だけ50ミリを上回ったが、今回は、17時台が76ミリ、18時台が83ミリとなるなど、短い時間に多くの雨が降った。また、西部支所では日降水量が95・5ミリと市役所の約35%しか降らず沿岸部で特に雨量が多くなったのが特徴となった。



天気用語の基礎知識

記録的短時間大雨情報

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、地上の雨量計で観測したり、気象レーダーと雨量計を組み合わせで分析した解析雨量により確認した場合に、気象庁から発表される情報。雨量の基準を満たし、既に大雨警報が発表され、危険度分布で「危険」が出現している場合に発表され、市町村等を明記して発表される。日立市における雨量の基準は、茨城県内全体と同じ1時間100ミリとなっている。

神峰の山からは、お休みします